

~ JA富山市米品質向上生産運動展開中 ~

コシヒカリの生育状況

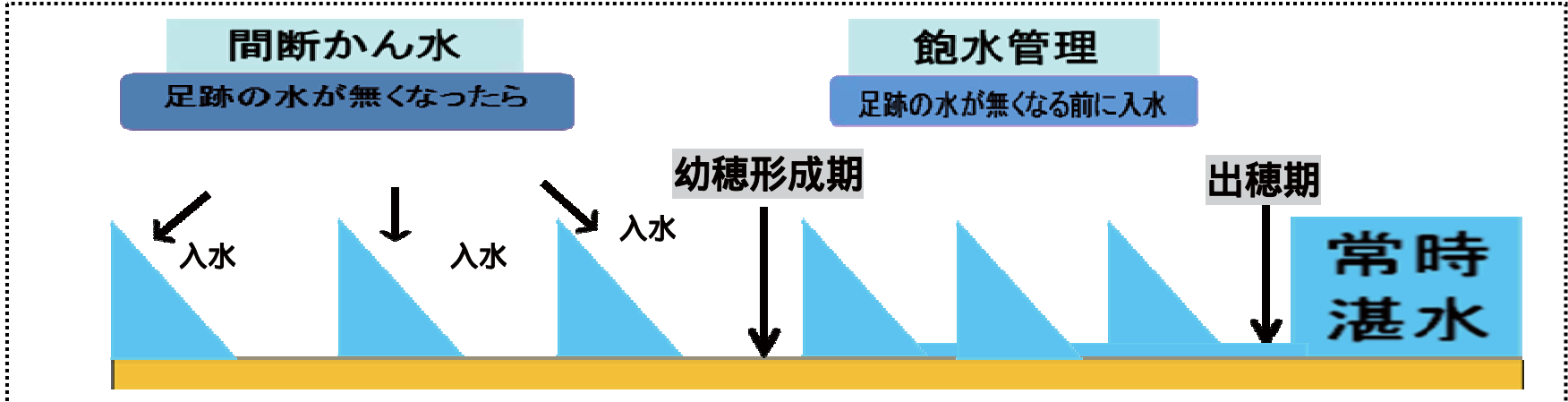
(JA富山市管内6/13調査結果)

	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢	葉色
H28年	36.7	447	9.1	4.3
昨年	36.5	367	8.9	4.4
平年	35.3	335	8.4	4.5

6月中旬現在のコシヒカリの生育は、平年に比べ草丈はやや長め、茎数はかなり多く、葉齢の展開は早く、葉色はやや淡く推移しています。生育状況を的確に確認し、遅れずに以下の管理作業を行いましょう。

中干し後の水管理

・中干し後から幼穂形成期までは「間断かん水」、幼穂形成期から出穂期までは「飽水管理」で稲の活力を維持しましょう。



中干しが実施されていないほ場については、速やかに中干しを実施してください。

干し過ぎると、逆に稲にダメージを与えるので、数回に分けて適度に田干しを行いましょう！

「てんたかく」分施田の穂肥

・幼穂長(1~2mm)を確認したら、散布する。

	1回目 (6/22-26頃)	2回目 (1回目の10日後)
追肥化成3号	10~12 kg/10a	12~13 kg/10a
LP追肥38号	18~20 kg/10a	-

基肥一発肥料のほ場でも、幼穂形成期前に葉色が4.0を下回る場合は、追肥化成3号で5kg/10a(チッソ成分で0.7kg/10a)程度の追肥を早急に行い、適正な葉色に誘導しましょう。



てんたかくの生育状況

(県生育観測ほ6/14調査結果)

	葉齢	幼穂形成期
H28年	9.9	(6/27)
昨年	9.8	6/27
平年	9.3	6/30

早生(てんたかく)の病虫害防除

体系	出穂予想 7/18	施用時期	薬剤名	散布量
粉剤	穂ばらみ期	7/3~5頃	モンラブF粉剤DL	4kg/10a
	穂揃期	7/20~22頃	ラブサイドキラップ粉剤DL	4kg/10a
	傾穂期	7/27~29頃	スタークル粉剤DL	3kg/10a
微粒剤	穂揃期	7/20~22頃	ビームスタークル微粒剤F	3kg/10a
	傾穂期	7/27~29頃	キラップ微粒剤F	3kg/10a
粒剤	出穂10~15日前	7/3~8頃	フジワンラップ粒剤	4kg/10a

農薬散布に当たっては、使用基準を必ず守りましょう。また、風速、風向きに注意し、周辺への飛散防止に努めましょう。

フジワンラップ粒剤は湛水状態で散布し、4日程度水を落とさない。

草刈りの徹底

・畦畔や雑草地でのカメムシ類の増殖を抑えるため、イネ科雑草の穂が出ないように草刈りを徹底しましょう。
・麦あとほ場は、積極的に大豆、園芸作物、緑肥等の栽培を行いましょう



カメムシ類が好む主なイネ科雑草
(左:ナギナタガヤ 右:メヒシバ)

草刈運動期間 7月1日~7月10日 一斉草刈日 7月2日(土)~3日(日)